

子育て応援！夏の学校

特定非営利法人 参画プラネット

参画プラネット

検索

「参画堂日記」日々更新中！

08年8月22日

表現学校新聞

さあ～さ、どーする！？

表現学校・第2回
難問HOMEWORK
現る！

～追求！探求！そして表現！いざ、自分！～

7月30日。ついに講座も第2回目を終えました。第1回目には参加できなかった方々も含め、14名の参加者による第2回・表現学校。突然の自己紹介タイムにさぞ驚かれたことでしょう！そして、私も……ここで指名が来るとは！緊張と焦りを共感させていただきました。（結局、新聞1号の自己紹介文を話してしまいました……ま、良く考えれば下準備！）今回は、所々に上鶴瀬先生のユーモア（ネタ？）と経験談もお聞きできて、非常に興味深かったです。特に、高校時代は友達もいなく閉じていた

ということ、そして、自分を知らない人達のいる土地へきたこと。土地を移動してきた私にとつての共感部分であり、またそのような先生が経験と時間を経てこのような「表現者」になっているということを思うと、「未来は拓いていくものなんだ。」と、私なりに考えさせられました。

第2回目は、カメラマンの小椋さんの撮影も行われました。あまり見ることでできない、真剣に机に向かった「自分」が写し出されていることでしょう。また、話をしている相手への真剣な聞き手のまなざしもみることでできました。撮影された写真の中からピックアップされたものは、10月4日の文化祭から2週間、1階交流ラウンジにて展示される予定です。その他の写真につきましては、全ての講座が終了後に検討されますので、興味のある方はまたご連絡ください。

さて、第2回目の講座ではついに「ホームワーク」が課せられました。第3回目までの3週間、皆さんはどのようにこの課題と向き合ったのでしょうか？上鶴瀬先生より、「米山さんもやってみなさい。」とお言葉をいただき、私自身もトライしてきた3週間です。とはいえ、「自分を掘り下げる」プラ

index

表現学校・第二回、終了しました
第二回受講生発・はじめまして&コメント
第2回、昼食交流会！
参画プラネット・ご案内

①面
②面
③面
④面
④面

表現学校新聞は、米山和恵が作成しております。ご意見・ご感想等、ございましたら是非お聞かせください。

～～表現学校・第2回～～

「広告」を作るとは……

- ①「広告」することを、まず知ろう！
→今回「広告」するのは『自分』

↓
自分を突き詰めてみよう。

- ②“誰”にわかって欲しいのか明確にする。
→「皆さん！」はNG

↓
相手に反応を起こすことが大切。

- ③読む側を意識する。

↓
相手は何を知りたいんだろう？

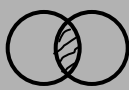
- ④広告は“見られない”ことが前提。
↓
じゃあ、見るようにさせるには？

- ⑤言いたいことを絞り込む
→広告は相手の「もっと知りたい！」をかき
たててればOK。中身は伝えなくて良い。

- ⑥効果的な“メッセージ”と“ビジュアル”
の関係とは。



接“点”があることが重要
これだけのメッセージ力
になる。



交わるということは、訴求
力は弱まる。“あたりまえ”
を伝えてしまうから。



離れていると、伝わらな
くなる。

- ⑦その広告の上にはどんな記事が良い？
→例：教員採用汚職事件の記事の下に、『私
は真面目です』のキャッチコピーは何が伝わ
るだろう？→正解はありません。

形にする」とは……容易な事
ではありません。独り言では終わ
れないこの課題。私にはかなり難
問です。さて講座も第3回目。皆
さんの成果を楽しみにしていま
す。

～大切な人と喧嘩をする回数を減らした
いと思いませんか？



Picture-Line

写真はそんな願いをかなえられるツールです～
(<http://www.picture-line.com> HPより)

～上鶴瀬先生が代表！そして活躍中～！

「楽しくなければ人生じゃない」

We! ELDERMAN (ウィ!エルダーマン)

<http://www.elderman.senior.ne.jp/>

知って、食べて、つながって！

昼食交流会！

～NPO法人

手しごと屋豊橋さん～

昼食交流会も2度目を迎えました。この週は、他の夏の学校の昼食交流会も開催されたので、手しごと屋豊橋の皆様は毎日のように豊橋より足を運んでくださいました。

先日、手しごと屋豊橋さんのHPを拝見しました。そこには、会の目的として、『地域住民の社会経験や、人生で培ってきたキャリアを社会資源化し、住民の交流を深める「居場所」と「仲間」づくりを目的といたします。』とあります。

ここで食べる「食事」にはこだわりがあるということ。目的があるということ。そして、私達は、この時間の中で確実に「交流」があるということ。それを感じながら食べてみるのはどうでしょうか？

「これらの野菜は全て自分達で作り、無農薬です。そして、『地産地消』を大切な考えとしています。」(田中さん)それがどれほど貴重なことか、と考えさせられます。

「フードマイレージ」という言葉を知りました。その食品が生産されてから消費されるまでのどれ位のエネルギーがかかっているかを表します。日本は世界中で群を抜いて第一位。コンビニのお弁当はそのエネルギーの集大成なのだそうです。

7月30日のメニュー

とうもろこし入り玄米ご飯
豆腐・わかめ・葱の味噌汁
肉じゃが風〇〇じゃが
切干大根梅酢和え・トマト
キャベツと人参の漬物

そして、それらは日々捨てられているのです。その一方で食糧難苦しんでいる人達もいる。一体私には何ができるのだろうか？とも考えさせられます。

父は「畑」を愛している人です。どんなに忙しくても前日飲み潰れても、朝日が昇ると草取りをしているのです。「愛情を注いだ分だけ応えてくれるんだよ。」(ニヤリと笑って「我が子と違って。」)と言っていました。夏の北海道の実家の畑はいつも賑やかで、私は

7人にいれば7人の良さ： 田中さんのお話

自分ひとりしていると気が付かないことがあります。例えば、(手しごと屋さんの作品を見ながら) こういう小さなブローチなんかは私は作れない。私はエコバックのミシンがけをする方が得意なんです。これらを作る人は、自分がそれを作れることを特別なこととは思っていなかったりするんです。でも、集まってみると「すごいわね！こんなことができるのね！」と誉めたり誉められたりする。そうすることで、自分がそれまであたりまえにやってきたことに自信がもてるようになったりするんです。子どもも誉められるとうれしいでしょう。子どもだけじゃないんですよ。大人もそうです。もしそこに7人がいるとすると、そこには必ず7人の良さがあります。そして子どもにもその子の良さがある。そういうものを見つけて、誉めてあげることで大人も子どもも自信を持って変化していくんですよ。でもそれは、自分の子育ての反省からわかったものなんです。その話を娘にすると、「私はそんな風に育てたかなあああああ・・・。」と言われちゃうけどね(笑)。



特定非営利活動法人

手しごと屋 豊橋

<http://teshigotoya-toyohashi.com/>

参画プラネット・ご案内

名古屋市男女平等参画推進センター・つながれとNAGOYA

指定管理者 特定非営利活動法人 参画プラネット

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-18-24

TEL 052-249-7277 FAX 052-249-7278

特定非営利活動法人参画プラネットは、女性も男性も「個」としての能力を最大限に活かすのことができる社会の実現を目指し、家庭・地域・職場・学校などのあらゆる場に、一人ひとりがバランスよく参画できるアクティブな市民社会の構築を目的とします。～～～わたしをつくる、仕事をつくる、社会をつくる。

～～第1部～～

プレゼンテーション

・交流学校・表現学校・情報学校・

みんながつながる
文化祭
10月4日

～～第2部～～

ゲストトーク

広岡守穂(中央大学教授)
広岡立美(石川県議会議員)